

英語語法文法学会第27回大会プログラム

大会参加費：学会会員 1,000 円 / 当日会員 一般 2,500 円 学生 2,000 円 (いずれも予稿集代を含む)

日 時：2019 年 10 月 19 日 (土)

<当日は厚生会館の食堂 (10.30-13.45) が利用できます。また近隣にコンビニエンスストア・飲食店がございます。>

開催校：北九州市立大学 北方キャンパス

〒802-8577 福岡県北九州市小倉南区北方四丁目 2 番 1 号

■JR をご利用の方

鹿児島本線小倉駅下車、北九州モノレール小倉駅より約 10 分「競馬場前 (北九州市立大学前)」下車徒歩約 3 分

■バスをご利用の方

○福岡天神バスセンターより小倉行高速バス (なかつに号) で約 70 分、競馬場前北九州市立大学前下車徒歩約 5 分

○小倉・田川方面より西鉄バスで「北方・北九州市立大学前」で下車 徒歩約 3 分

詳細：https://www.kitakyu-u.ac.jp/

開催校委員：伊藤 晃、葛西宏信、永末康介

大会実行委員：住吉 誠、大竹芳夫、滝沢直宏、出水孝典、中澤和夫、西田光一、林龍次郎

●司会者・関係者 (ワークショップ・研究発表・シンポジウム発表者) 控え室 (本館 3 階 D-303 教室)

●大会本部・運営委員会室 (本館 3 階 D-304 教室)

●一般休憩室 (本館 3 階 D-302 教室) ●書籍展示 (本館 3 階廊下)

受付：10 時 00 分より 本館 1 階

ワークショップ (本館 3 階 C-302 教室) 10.30 - 11.50

司 会 前川貴史 (龍谷大学)

1. 「Because 独立節—OED 編集長の著書に見られる実例を中心に—」 金子輝美 (元・愛知淑徳大学非常勤)
2. 「as ... as (...) can be 再考」 松田佑治 (立命館大学)
3. 「Regardless of whether の記述的考察」 大野真機 (昭和大学)
4. 「but と置換可能とされる and についての—考察—」 田岡育恵 (大阪工業大学)

受付：12 時 30 分より 本館 1 階

研究発表 13.00 - 14.45

第 1 室 (本館 3 階 C-302 教室)

司 会 松村瑞子 (九州大学)

1. 「先行事象 (発話) に対する評価を表す There go 構文」 三野貴志 (大阪大学大学院)
2. 「Speaking of which の構文化分析再考」 山内 昇 (大同大学)
3. 「It is past time ... の形式と意味」 桑名保智 (旭川医科大学)

第 2 室 (本館 3 階 C-303 教室)

司 会 植田正暢 (北九州市立大学)

1. 「基数詞目的語によって生じる over-V の意味の考察」 岩宮 努 (大阪大学大学院)
2. 「「上位語型」同族目的語構文の動機づけ—名詞 laugh が生起するパターンを中心に—」 大井良友 (大阪大学大学院)
3. 「be starting/beginning + Ving における-ing 形の二重使用制約について」 島本慎一郎 (日本大学)

総会 (本館 3 階 C-301 教室) 15.00 - 15.20

総合司会		西田光一 (山口県立大学)
開会の辞	会 長	大室剛志 (名古屋大学)
開催校代表挨拶		葛西宏信 (北九州市立大学基盤教育センター語学教育担当副センター長)
学会賞・奨励賞選考報告	会 長	大室剛志 (名古屋大学)
事務局報告	事務局長	吉田幸治 (近畿大学)
会計報告	会 計	吉川裕介 (近畿大学)

シンポジウム (本館 3 階 C-301 教室) 15.35 - 17.45

テーマ 「否定と尺度と談話と—否定表現とその周辺—」

司 会 五十嵐海理 (龍谷大学)

1. 「日本語と英語における否定極性項目と緩叙法」 有光奈美 (東洋大学)
2. 「否定の繰り返しと Not-topic」 五十嵐海理 (龍谷大学)
3. 「否定辞 not を含む等位構造を巡って」 関 茂樹 (大阪市立大学)

討論者 佐野まさき (立命館大学)

閉会の辞 伊藤 晃 (北九州市立大学)

懇親会 18.00 - 19.30

会場：厚生会館 1 階生協食堂

(懇親会費：一般 5,000 円 学生 3,000 円)

連絡先：英語語法文法学会

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3-4-1 近畿大学経営学部 吉田幸治研究室内

tel.: 06-4307-3365 (研究室) / fax: 06-6729-2493 (経営学部 教養・基礎教育部門)

(Email: segu.office@gmail.com ウェブサイト: http://segu.sakura.ne.jp)